

車載線量測定 5年間の推移

2017. 10. 22 小原壮二



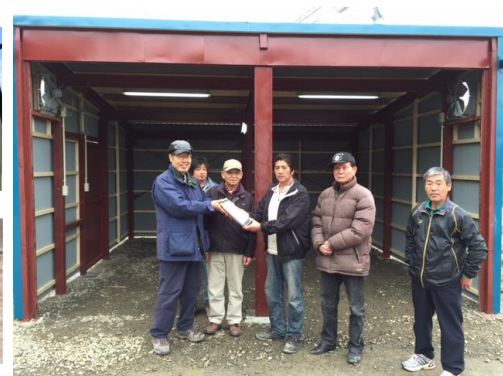
GPS付き小型測定器(GPSガイガー)を自家用車の窓に取り付け、村民が各行政区を月2回測定。(2012年秋～)



KEKが開発した高性能測定器(5インチNaI・3インチNaI)を会員の自家用車に搭載して全村を測定。(2012年秋～)

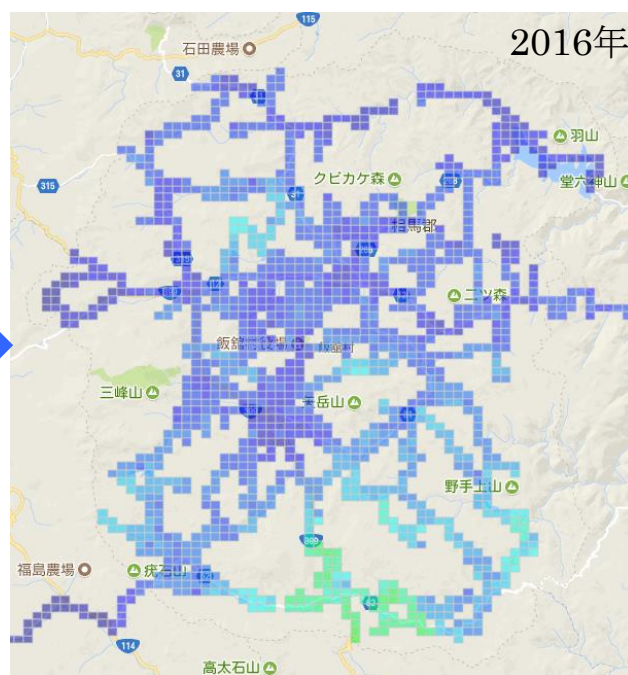
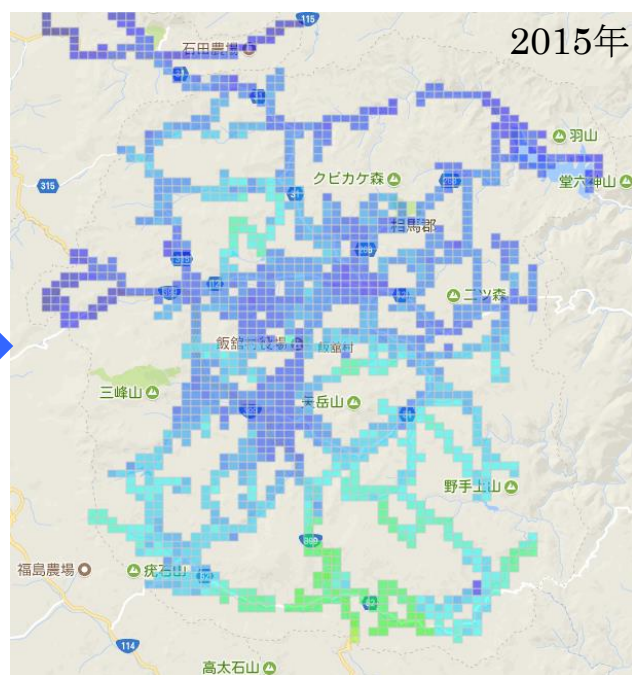
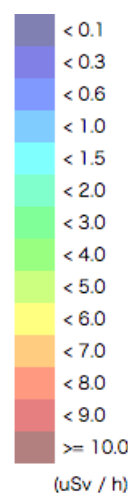
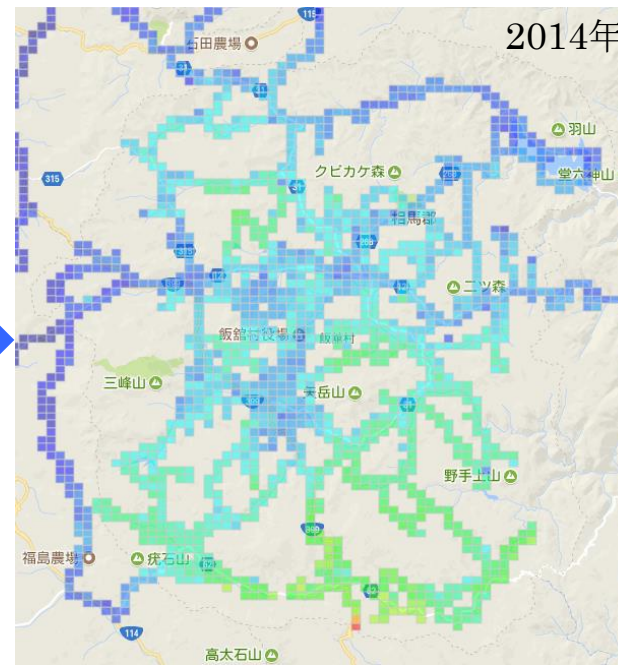
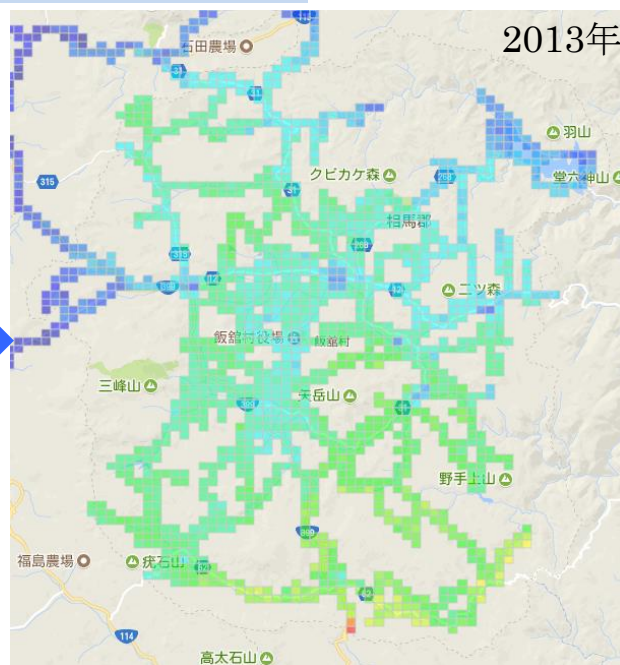
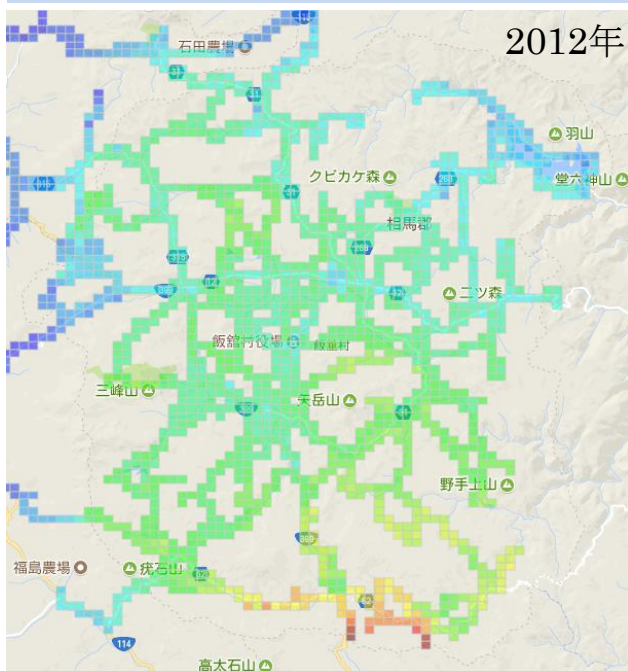


高性能測定器を搭載する測定専用車両2台を導入。村民による測定と会員による測定方法を統一。(2014年秋～)

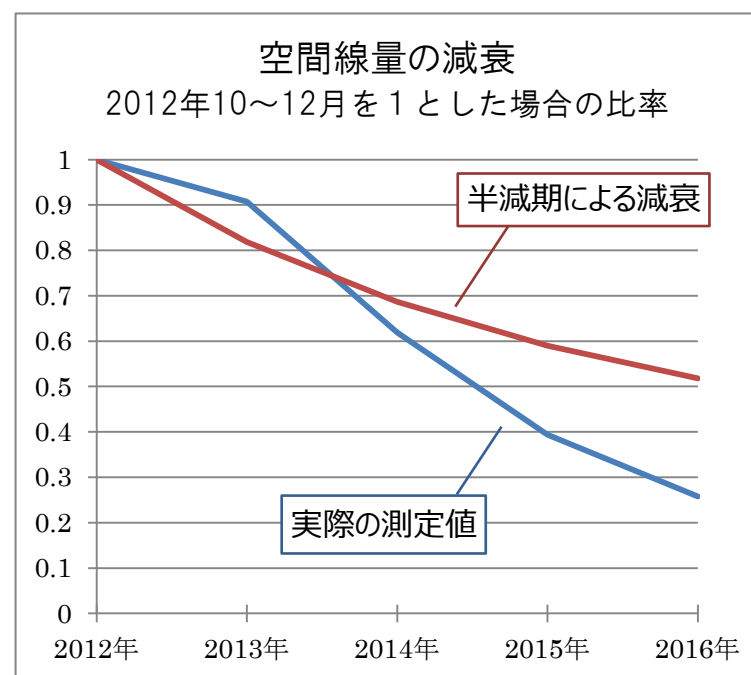


2015年3月、村役場近く(伊丹沢)に専用車の車庫が完成。測定車が常時スタンバイし、村民はスケジュールにあわせて空身で車庫に集合して出発できるようになった。

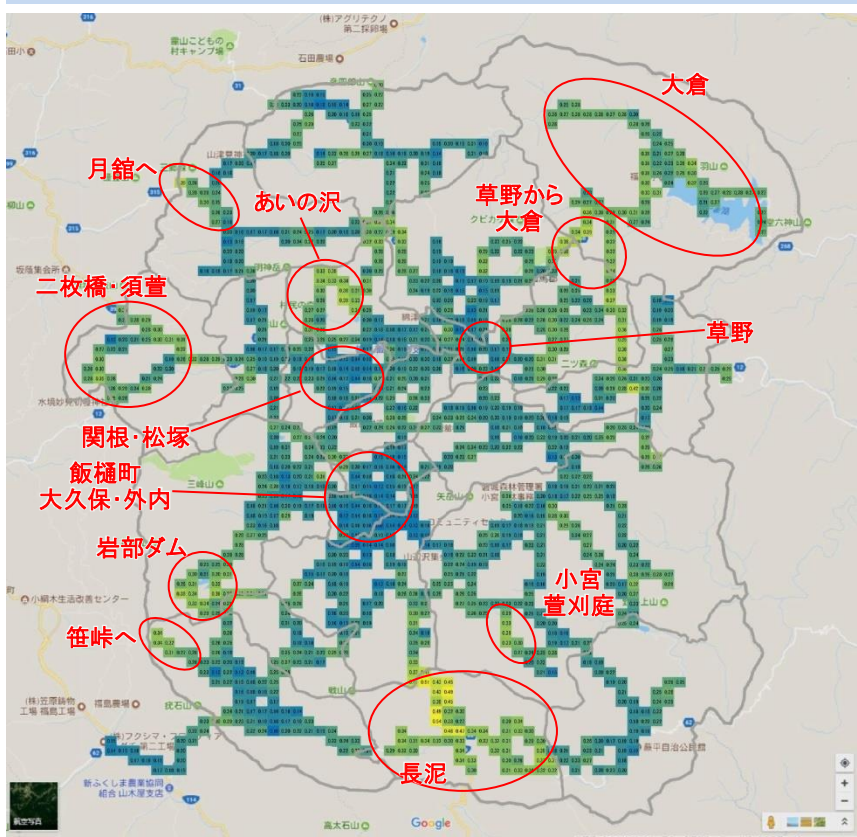
空間線量の推移(各年とも10～12月期の平均)



※2016年4月より月1回の測定に変更



場所によって異なる減衰率



◆ この線量マップは、2012年10～12月の測定値を1として、2016年10～12月の測定値の比を表しています。
値が0.1の(=10分の1に下がった)場所が青、0.5の(=半分に下がった)場所を黄色、その中間が緑色というグラデーションで表現されています。

- ① 減衰率の高い場所
 - ・ 草野・飯樋町の住宅商店街の場所や、農地が広がっている関根・松塚などが青色か、青色に近い色になっています。自然減衰に除染の効果が加わって減衰率が高くなっています。
- ② 減衰率の低い場所-1
 - ・ あいの沢村民の森、岩部ダム周辺、比叡から川俣に向かう笹峠(県道62号)、前田から月館に向かう峠(県道315号)、草野から大倉へ抜ける峠(県道268号)、小宮萱刈庭など森林に囲まれている場所は減衰率が低くなっています。
- ③ 減衰率の低い場所-2
 - ・ 二枚橋・須萱、大倉が黄緑色になっているのは、もともとの空間線量が低いため、大きく減衰することがないためと考えられます。